第３号様式（第６条関係）

令和８年６月１日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

（宛先）
戸田市長

団体名　一般社団法人ハートフロッグ

代表者職・氏名　代表理事　青木　真由美

所在地 [redacted]

事業名	「子どもの居場所づくり」（ワクワクおやつ村）	
SDGs の 該当ゴール	SDGs11「住み続けられるまちづくりを」 ○定期的におやつ村を開催し子ども達が安心して過ごせる環境をつくることで住み続けられるまちづくりに繋がる。 SDGs17「パートナーシップで目標を達成しよう」 ○一人ひとりが我が事として地域の課題を捉え、子ども達が安心して集える居場所作りを地域住民・団体・企業等が協働して進めていく。	
確定前交付の希望	☑希望する	□　希望しない
連絡担当者	氏名	[redacted]
	住所	[redacted]
	電話	[redacted]
	Fax	
	E-mail	[redacted]
ホームページ	http://www.facebook.com/share/18N7xX2PaD/?mibextid=wwXlfr	
設立年月日	令和５年２月１３日　設立	
会員数	３人	
年会費	０　円／１年間	

団体の目的	地域における全ての人と人の絆に関する企画や教育を行うことで笑顔があふれる地域づくりやまちづくりを行うこと。また、人とのつながりが生まれることで、貧困・いじめ・犯罪の減少にもなると考えられ、世代や立場を超えて支え合える社会の実現を目指す
主な活動実績	○2023年10月より毎月第3・第4水曜日の月2回15時から夕焼けチャイムまでおやつや軽食を提供 参加者：平均30人/回 （会場 2023年10月～2024年5月　笹目6丁目アグリマーケット 2024年6月～現在　笹目6丁目会館） ○2024年5月4日　ボートレース戸田ROKUにて「出張おやつ村」開催。参加者：新曽笹目地区より3家族14名 ○2024年7月31日～8月10日までの日曜日を除く10日間 笹目6丁目町会事業協力・戸田市学童保育保管事業として「戸田っ子サマークラブ」運営補助 参加者：平均１５人/回 ○2024年10月13日笹目6丁目町会お神輿・神社deフェス出店 ○2023年7月より笹目小学校区において「登校見守り活動」参加継続中 ○会館居栄屋開催（町会サポート事業）
これまでの補助金等の援助状況	○社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 令和5年度こども食堂・未来応援基金助成事業により１０万円 ○戸田市令和7年度 共創のまちづくり補助金(SDGs応援事業補助)より５万円
団体ＰＲなど	2023年10月より月2回の「ワクワクおやつ村」の開催や年1～2回のイベントを継続し、地域の子どもたちの居場所づくりに取り組んできました。2年目となる本年度は、これまでの活動で築いた信頼関係をもとに、より多くの子どもや保護者が安心して参加できる場づくりと、地域との連携強化を目指しています。 これまで延べ1738人の子ども達が参加し、「村人」と呼ばれるボランティアスタッフも1回あたり4名程度参加するなど、地域に根付いた活動へと広がっています。 地域の高校生や大学生、大人が世代を超えて関わることで、子ども達だけでなく支える側にとっても学びと成長の場となっています。また、活動後には毎回振り返りを行い、より良い運営へと改善を重ねています。今後は地域団体や企業との連携をさらに深め、持続可能な居場所づくりを目指していきます。

≪**事業企画書**≫

1　事業の目的・必要性・課題

ＳＤＧｓの該当ゴール：
SDGs11「住み続けられるまちづくりを」 ○これまでの活動を通して、対象地域には児童館や定期的に開催される子どもの居場所が少なく、継続的な居場所の必要性が高いことが明らかになった。 そのため、世代を超えて交流できる場を継続的に提供することで、地域全体で子どもから高齢者までの心の健康を支え、持続可能なまちづくりを進める。 SDGs17「パートナーシップで目標を達成しよう」 ○子どもに関する課題を他人事ではなく、一人ひとりが我が事と捉え、地域住民・地域団体・福祉関係団体・企業等が一体になって子どもの食や学習の支援をはじめ子ども達を始めとして多世代が身近に集うことができる居場所作りを進めることで SDGs の協働の担い手になることができる。現在は地域で多世代が集える場があまりないのが現状である。

2　事業の具体的内容

○月 2 回の「ワクワクおやつ村」の定期開催
　日程：3. 事業実施のスケジュールの通り
　時間：15 時から夕焼けチャイムまで
　会場：笹目 6 丁目会館
　対象：地域の子どもたち
　定員：40 人
　参加費：無料
　内容：おやつや飲み物の提供、子どもとイベント企画、卓球やボードゲーム、おやつ作り等。おやつ作りや絵を描くイベントは、講師の方が参加者にレクチャーをします。
　講師：白石久美恵、佐藤英子他（予定）
　実施体制：当会員 2 名、ボランティア 9 名
○登校見守り活動
　笹目小学校校門前にて
　日程：月曜日、水曜日～金曜日
　時間：7：50～８：20
○会館居栄屋（かいかんいざかや）
　日程：年度内で 2 回開催予定
　場所：笹目 6 丁目会館
　対象：全世代
　　前回は未就学児から８０代までが参加。「小さな村」ができるのが目標
　参加費（大人のみ）500 円　500 円×20 人
　内容：飲み物、食べ物を提供（持ち込みあり）、地域の多世代の交流。地域の人が町会会館を居場所とすることができ、盛えることを目的に開催。

3　事業実施のスケジュール

月　日	内　　容
4 月 16 日・23 日	ワクワクおやつ村
5 月 20 日・27 日	ワクワクおやつ村
6 月 17 日・24 日	ワクワクおやつ村
7 月 15 日・22 日	ワクワクおやつ村
8 月 19 日・26 日	ワクワクおやつ村
9 月 26 日・23 日	ワクワクおやつ村
10 月 21 日・28 日	ワクワクおやつ村
11 月 18 日・25 日	ワクワクおやつ村
12 月 23 日	ワクワクおやつ村　クリスマス会
令和 9 年 1 月 20 日・27 日	ワクワクおやつ村
2 月 17 日・24 日	ワクワクおやつ村
3 月 16 日・23 日	ワクワクおやつ村
未定	会館居栄屋

4　事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

○「ワクワクおやつ村」平均参加者 30 名
　＊参加者人数は前年度と同じとなっているが、これは参加者が多すぎるとスタッフの目が届かなくなってしまうため。
○イベント参加者平均 20 名
○親子参加者を増やす延べ 10 組
○地域の児童委員・民生委員、自治会等へ「ワクワクおやつ村」等の開催を周知
　＊現在も自治会会合等へ出席し、ハートフロッグの活動紹介を行っている。
　　引き続き子ども達へ届くよう、周知していく
○SNS 等を利用して活動を周知し、地域の企業へハートフロッグで取り組んでいる活動の必要性を伝え、それぞれの企業の強みや専門性を生かした関わりや参加、協賛金への協力を依頼する。　また、身近で支援してくれる人へも地域活動への理解を深めてもらい、寄付やボランティア等への協力を求める。
　＊おやつ村やイベント開催時の講師等として、それぞれの専門を生かした企画の提供等の依頼。子ども達の様々な経験が豊かな将来に繋がるよう、地域の大人達の協力を得ていく
　＊協賛金目標　1 社 5,000 円×5 社
　○参加者アンケートや聞き取りを実施し、「安心して過ごせる」と回答する割合 80%以上を目指す

≪**収支予算書**≫

【収入】

科　目		予 算 額	内　訳
補助金・助成金	当補助金	50,000	
	その他	0	
自己資金		85,303	
会費		0	
利用者負担金		0	
協賛金・寄附		70,000	
その他		0	
合　計		205,303	

【支出】

	科　目	予 算 額	内　訳	
補助対象経費	食糧費	100,000	ワクワクおやつ村等にて提供するお菓子・飲み物等 2,000 円/1 回×21 回 42,000 円　ｲﾍﾞﾝﾄ 3 回 58,000 円	
	消耗品費	20,000	文房具、キッチン用品	
	印刷製本費	5,303	チラシ、ポスター等の印刷代	
	謝礼金	20,000	講師、協力者への謝金等 白石久美恵 10,000 円 佐藤英子 10,000 円	
小　計		145,303	内訳	補助金申請額：50,000
				自主財源：95,303
補助対象外経費	交際費	10,000	講師との打ち合わせ	
	その他	50,000	ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ、研修代	
小　計		60,000		
合　計		205,303		